

こだま Q&A

Q59

ノロウイルス迅速検査が改良されたと聞きましたが、新型ノロウイルス（遺伝子型 GⅡ.17）が検出できますか。

A59

当検査センターで使用のノロウイルス迅速検査（イムノクロマト法）は改良され新型ノロウイルス（GⅡ.17）の検出感度を高めたと試薬メーカーより報告がありました。

ただし、これまでの新型ノロウイルス（GⅡ.17）の検出感度より若干高まった程度であり、急性期初期のノロウイルスが大量に含まれている糞便のみが対象となります。

したがって、改良された迅速検査が昨年まで流行していたノロウイルス（GⅡ.4）の検出感度と同等になったということではないので注意が必要です。

上記を踏まえて当検査センターでは、新型ノロウイルス（GⅡ.17）を感度よく検出できる遺伝子検査（TRC法）を検討し、12月中の所内導入を目指しています。

以下に、ノロウイルス GⅡ.4と GⅡ.17での各種検査の感度を一覧表でお示します。

各種検査	旧流行(GⅡ.4)検出感度	新流行(GⅡ.17)検出感度
迅速イムノクロマト(現行型)	$10^{5\sim6}$ コピー/g	10^9 コピー/g
迅速イムノクロマト(改良型)	$10^{5\sim6}$ コピー/g (*1)	10^8 コピー/g (*2)
遺伝子検査(TRC法) (*3)	$10^{2\sim3}$ コピー/g	$10^{2\sim3}$ コピー/g

(*1) 複数回下痢を重ねた後の希釈便でも検出できる可能性がある感度。

(*2) 急性期初期段階では、 10^8 コピー/g以上の排出がある可能性が高い。

(*3) 保険点数未記載のため、ご依頼時には注意が必要です。

お問合せ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)

きゃつちボール

今回の特集の「所内安全運転研修会」ですが、身近な事故例を取り上げたため、参加者も自分のことのように感じて真剣に考えることができたようです。これから年末に向けて交通事故が増える時期です。通勤も含め、一人一人が安全運転を心がける必要があると思いました。

私事ですが、10月1日付で本部事務局から総務企画課へ異動してきました。異動してきて1番驚いたのは、5S活動です。整理・整頓・清掃・清潔・躰と言葉で言うと「な～んだ」と思われるかもしれませんが、百聞は一見にしかず。実際見てみると、想像以上の取り組みに本当に感動しました。

白石 淑子（総務企画課課長）

広報委員

谷敷 圭美 / 亀石 猛 / 熊川 良則 / 田中 洋子 / 初岡 博 / 高磨 潤